

あなたも私も大切にされるまち、加東市へ！ ～加東市人権尊重のまちづくり基本計画の完成に向けて～

加東市教育長 増田 種 男

近年、地球温暖化傾向が一段と進行し、環境保全が大きな課題となってまいりました。

また、一方では、子どもへの虐待、高齢者、女性への人権侵害、さらには、命の尊厳が侵されるという憂慮すべき事態が多発しています。

そうした社会背景の中で、加東市教育委員会では、人権教育、啓発を一層進めるために、「加東市人権尊重のまちづくり基本計画」の策定を昨年度から進め、概ねでき上がりました。

また、男女が平等の立場で、お互いの個性、人権を尊重する家庭、まちづくりを推進するため、「男女共同参画プラン」を策定いたしました。さらに、市同教では、市民の多くの方々のご尽力、ご協力を得ながら、人権に係る地区住民学習会を展開しました。

このほか、人権教育課では、長年にわたって、各種講演会等を通して、人を思いやる豊かな心の育成に努め、成果を収めてきました。

しかし、まことに残念なことに、加東市内において、「社(加東)には部落民がはびこりすぎて困る」という投書がありました。この部落差別に対して、大きな憤りを感じております。「どこの地域で生まれ育っても同じ人間である」という人間共通の理念が踏みにじられたのです。だれも生まれ育ったところを大切に、一生懸命生きることこそ、人間の尊さ、価値があります。

この事案を謙虚に受け止め、今後、私たちは、自分も他人も大切にすることを一層広げるために、市民の研修の機会を提供するとともに、啓発に努めてまいりたいと思います。市民のみなさま方には、身近なところに潜む人権侵害に目を開いていただき、住みよい加東市づくりにご協力、ご尽力くださいますようお願いいたします。

まちを知る貴重な郷土資料

図書館で働いていると「このあたりの昔の暮らしについて書かれた本はありませんか」と尋ねられることがよくあります。こんな時は、旧3町が作成した「町史」や、地元地区などが発行された郷土資料が役に立ちます。

図書館では、兵庫県内の「まち」に関する本を、「町史」などの加東市に関する本を含め、「郷土行政資料」として4館で約8000冊所蔵していますが、まだ十分ではありません。「加東市のことを知るには、まず図書館へ」と言えるように、加東市に関する本を積極的に集めていきたいと考えています。

もし、みなさまのご家庭に郷土資料(冊子)がありましたら、図書館に寄贈いただければ幸いです。

図書館での行事 ～絵本のおはなし会など～

行 事 名	と き	じ かん	と ころ
「ピッピ」のおはなし会	12月5日(土)	14:00~	
「ぐりとぐら」の絵本の時間	12月15日(火)	10:30~	中央図書館
としょかんのおはなし会	12月19日(土)	14:00~	
めるへん教室	12月26日(土)	14:00~	やしろ国際学習塾
「おはなしくまのこ」のおはなしのじか	12月26日(土)	14:00~	東条文化会館ホワイエ

中央図書館(☎42-8000)
滝野図書館(☎48-3003)
休館日/月曜日、12/23、
12/27~1/4

東条図書館(☎47-6050)
図書・情報センター
(☎40-2004)
休館日/水曜日、12/24、
12/28~1/3

みんな本あんな本



「ひつじのむくむく」
村山桂子:作 太田大八:絵

お百姓にも、おかみさんにも、牝ウシにも、ぶたにも、誰にも遊んでもらえないヒツジのむくむくは、道で出会ったオオカミに遊んでと声をかけ……。ハラハラする、幼児向け絵本。